

令和元年7月17日 臨時部長会議資料

飯綱高原観光施設整備計画（案）

～飯綱高原の魅力を発信！『飯綱高原ブランド化計画』～

長野市商工観光部観光振興課

■ 飯網高原にはキャンプ場や自然を生かしたアスレチック施設など、訪問者に非日常空間を提供できる施設が多く点在しているが、各施設を線で結ぶアプローチがなく、滞在時間、観光消費額を延ばすようなコンテンツの提供ができていない現状にある。

そこで、ウィンターシーズンからグリーンシーズンへ転換していくこのタイミングを逃さず、次に掲げる基本方針の下、**魅力ある飯網高原観光施設**を作り上げていく。

- ① 市街地からの至近性と豊かな自然環境を生かした**戦略的な観光施策の推進**
- ② 来訪者との交流による**地域産業と地域コミュニティの活性化**
- ③ 民間活力導入による、**効率かつ効果的な施設運営**

山の駅整備予定地



大谷地湿原

山の駅ゾーン



(イメージ)

キャンプ場ゾーン



小天狗の森・フォレスト
アドベンチャーゾーン



水辺・芝生ゾーン



A 山の駅ゾーン

- 整備内容（詳細な整備内容は8ページ以降参照）
大座法師池周辺エリアの周遊の拠点施設として、
（仮称）山の駅を新設。

① 山の駅本体

- ・飲食施設、アクティビティ施設、
物販施設、観光インフォメーション等

② 駐車場 新規駐車台数69台

③ 公衆トイレ



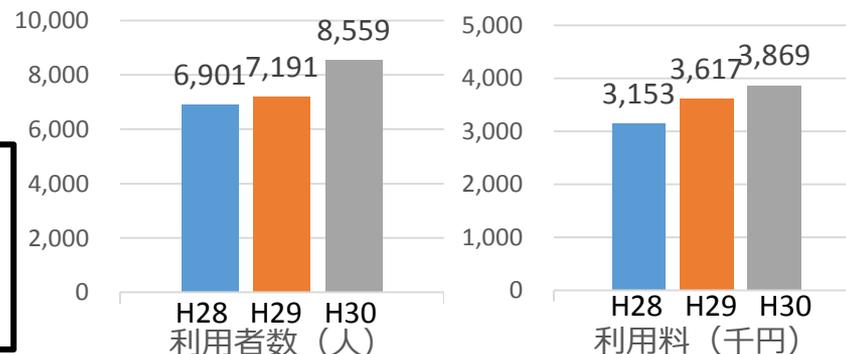
B キャンプ場ゾーン

■ 現状

- ・キャンプ場利用客の増加
- ・バンガローの老朽化・低稼働率

※H30バンガロー稼働率
⇒**19.4%**（8月は35.4%）

- 整備方針・バンガロー（5棟）撤去及びフリーサイト拡張・グラビングサイト整備・炊事場改修
・施設整備に併せた利用料金の見直し



各ゾーン整備②

C 水辺・芝生ゾーン

■ 現状

- ・ボート場は、休日はある程度の利用がある。
- ・芝生広場は、イベント開催時のみ賑わう。



人気の水上アクティビティ

■ 整備方針

- ・人気アクティビティの導入
- ・火まつりのステージを、おしゃれな水上テラスに改修
- ・彩どり豊かな山野草等の植栽（大座法師池周辺）



小天狗の森 遊具



山野草の例（クンソウ）

D 小天狗の森・フォレストゾーン

■ 現状

- ・小天狗の森（無料）は、老朽化が進んでいる。
- ・フォレストアドベンチャーは、若者世代の利用も多い。

■ 整備方針

- ・計画的な施設改修及び周辺施設との連携強化



フォレストアドベンチャー
ジップスライド

① A山の駅ゾーン + Bキャンプ場ゾーン

・キャンプ場利用客からの、バーベキューに地場産品を使いたいという要望

⇒地元でとれた野菜等の購入増が見込める。

② A山の駅ゾーン + C水辺・芝生ゾーン

・アクティビティの利用受付は山の駅で行い、ファミリー層へのPRを強化

⇒レストラン・カフェ等の家族利用の増加が見込める。

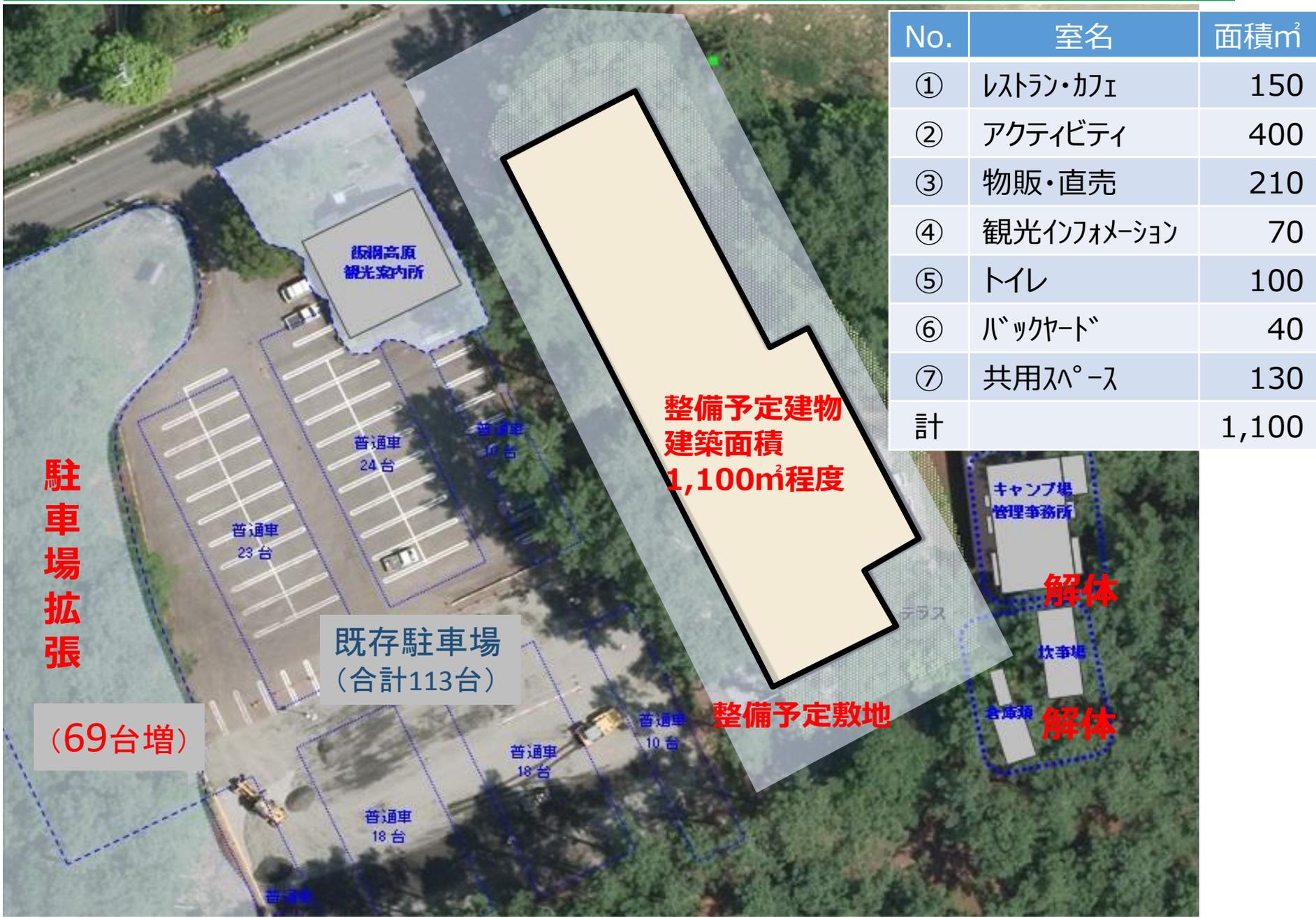
③ A山の駅ゾーン + D小天狗の森・フォレストゾーン

・フォレストアドベンチャーの利用客には、若者客（カップル等）も多い。

⇒若者客が、山の駅で軽食を購入した後、新設する「水上テラス」に移動し、大座法師池を眺めながらおしゃべりに食事することが可能に。

※①、②、③それぞれの連携手法について、SNS等を通じて魅力的なパッケージを提案。





(1) 飲食施設

- ・地元食材を活用した魅力的なメニュー（ビール、コーヒー、アイス、パンなど）の提供
⇒キャンプ場利用者などへ食材の販売、水上テラスへ誘導
- ・Wi-Fi等完備の「森のワークスペース」（テレワーク）の設置

【想定規模】

○レストラン+カフェ **50席程度** ○必要面積 = 約150㎡程度（厨房スペース含む）

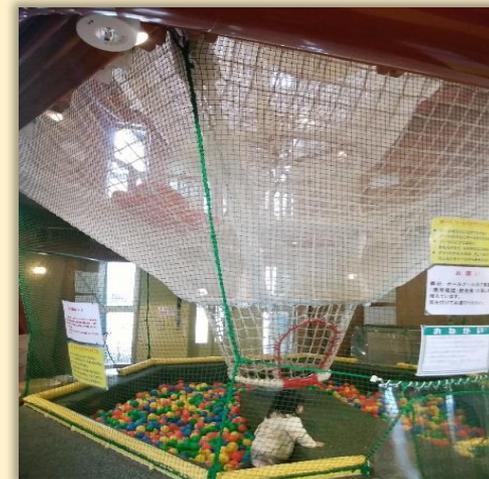


(2) アクティビティ施設

- ・全天候型の大規模遊具等の設置
- ・平日は自然体験等を求めるアクティブなママ友グループを、休日はキャンプ等を行う子育て世代をターゲットに。
- ・イベントや子供をみながら休むことができる多目的スペースを併設

【想定規模】

○必要面積 = 約400㎡程度



(3) 物販施設

・新鮮な地元産農産物等を販売

⇒朝穫れ野菜などの付加価値の高いものを提供

⇒キャンプ客などを意識した商品展開

・野菜直売は地元が組織する農産物等出荷組合を利用することにより、地域産業を振興

【想定規模】

○必要面積 = 約210㎡程度

(4) 観光インフォメーション

・キャンプ場との連携・機能集約によるワンストップサービス

・レンタルやルテ「イクウォーキング」等のアクティビティの導入により
地域内の回遊性を高める

・飯綱高原及び周辺地域の観光案内スペースを設ける

【想定規模】

○必要面積 = 約70㎡程度



(5) 公衆トイレ

- ・24時間利用可能な公衆トイレ
- ・主な利用を想定する子育て世代に対応した「優しい」トイレ
- ・既存の公衆トイレ『高原の泉』は機能集約して撤去

【想定規模】

○必要面積 = 約100㎡程度



(6) 駐車場

- ・連休や夏休みなどのピーク時には、既存駐車場が満車となることから、既存部分を拡張し山の駅来訪者のための駐車場を確保する
- ・サイクリングを楽しむ方のために、サイクルスタンドを設置

【想定規模】

○必要台数 = 増設台数 計69台 (既存駐車場113台)



- ①大座法師池周辺・12時間道路交通量調査結果 (7:00~19:00)
 ・平成30年8月23日(水)~8月27日(月)実施に基づく

車種	平日	休日
普通車	3,855	4,885
大型車	86	76

- ②乗車人員
 ・道路交通センサスの車種別乗車人員を採用した

車種	乗車人員
普通車	1.30人
大型車	1.18人

- ③立寄率
 ・道の駅の立寄人数を試算する際に活用されることが多い『道の駅調査』の立寄率を採用した

車種	平日	休日
普通車	6%	20%
大型車	3%	3%

- ④施設の営業予定
 ・営業日数は、平日217日、休日120日と仮定

平日	休日	休業
217	120	28

立寄人数 = ① (交通量) × ② (乗車人員) × ③ (立寄率) × ④ (営業日数)

試算結果

施設名		飯綱高原
交通量	平日	3,941台
	休日	4,961台
試算人数		218,728

《参考》平成27年度道路交通センサスの交通量と施設の利用実績
 (12時間交通量) 7:00~19:00

施設		信州新町	中条	大岡
交通量	平日	8,611台	4,093台	3,776台
	休日	交通センサス上データ無し		
実績人数		383,209	230,780	173,965

上位推計 年間 218,728人

- 試算の結果、年間の立寄者数は 218,728人（上位推計）と予測される



中位推計 年間 144,042人

- 交通量の調査時間を上位推計の12時間から7時間に絞り込み
(9:00~16:00)



下位推計 年間 114,042人

- さらに、山の駅の利用の可能性が低いゴルフ場利用者 3万人を減

推計方法	交通量調査時間	他の要因	立寄者数
上位	12時間	—	218,728人
中位	7時間	—	144,042人
下位	7時間	ゴルフ場利用者減	114,042人

まとめ

※冬期間の落ち込みを踏まえた推計

立寄者数

施設名	山の駅 飯綱高原		
	上位推計	中位推計	下位推計
立寄者数[人/年]	218,728	144,042	114,042
ひとりあたり消費額[円/人]	800		
収入計[円・年]	174,982,400	115,233,600	91,233,600

《参考》市内類似3施設の利用者数等実績（H29）

施設名	市内類似施設（道の駅）		
	信州新町	中条	大岡
利用者実績	383,209	230,780	173,965
消費額	880	787	462
収入計	337,451,786	181,632,684	80,400,045

収支

区分		山の駅 飯綱高原 収支見込		
		上位推計	中位推計	下位推計
収入	売上高	174,982,400	115,233,600	91,233,600
	指定管理料	0	0	0
	計	174,982,400	115,233,600	91,233,600
支出	人件費等	59,144,051	38,948,957	30,808,800
	施設維持管理費	19,856,000	19,856,000	19,856,000
	原価費	76,467,309	50,357,083	39,869,083
	計	155,467,360	109,162,040	90,533,883
収支		19,515,040	6,071,560	699,717

区分	山の駅	市内3道の駅
人件費率	33.8%	39.2%
原価率	43.7%	43.7%

※公マネLCC計算シートによる

従業員配置計画 （下位推計）

職務	人件費根拠
施設長① （正規）	5,000千円
社員① （正規）	4,000千円
物販直売③ （従業員）	夏8h*8ヵ月 冬6h*4ヵ月 時給900円 月20日勤務
飲食担当⑤ （従業員）	
遊具担当③ （従業員）	
ポート① （従業員）	

※○の数字は人数

○人件費：施設長(1)・社員(1)・物販直売(3)・飲食(5)・遊具(3)・ポート(1)＝計14名

○施設維持管理費：光熱水費・修繕費等公マネLCC計算シート

■ 現状（H30実績）

収入(ポート場合)	支出(人件費除く※)	収支
5,481千円	4,241千円	1,240千円

※キャンプ場の人件費については、**山の駅の支出に含まれている**ので、**ここでの試算から除外する。**

改定案

★見直し条件

①フリーサイト拡張 ②利用料金の引き上げ（戸隠キャンプ場を参考に）

区分	現料金	改定料金	利用数(見込)※	収入
宿泊	持込みテント(小)	1,000円	454件	681千円
	持込みテント(大)	1,500円	543件	1,358千円
	ログキャビン	8,000円	170件	1,700千円
日帰り	施設使用料	100円	4,928人	986千円
その他(レンタルテント、ポート場等)				2,485千円

※「利用数」については、H30実績を基準に、キャンプ場の利用者数が10%増加するものとして算定

改定後
収入合計⇒
7,210千円

全体収支計画（山の駅+キャンプ場・ポート場）

区分		上位推計	中位推計	下位推計
収入	山の駅	174,982,400	115,233,600	91,233,600
	キャンプ場・ポート場	7,210,000	7,210,000	7,210,000
	計	182,192,400	122,443,600	98,443,600
支出	山の駅	155,467,360	109,162,040	90,533,883
	キャンプ場・ポート場	4,665,100	4,665,100	4,665,100
	計	160,132,460	113,827,140	95,198,983
収支		22,059,940	8,616,460	3,244,617

※キャンプ場利用者数の10%増に合わせて、**支出を10%増やす。**

【事業手法】

■ 山の駅とキャンプ場を設計・施工・運営プロポーザルにより一体的に整備

【予定財源】

■ 辺地債(充当率100%・交付税措置80%) を活用するため辺地計画を策定し、補正予算と併せて12月議会提出

■ 国の地方創生関係交付金等の予算措置がされた場合は活用を予定

辺地対策総合整備計画(辺地計画) 年度別事業一覧 (素案) (千円) 17

	事業名	上段：予定事業費 下段：事業概要			合計
		R1	R2	R3	
1	山の駅整備	23,969 設計・工事管理費	581,869		659,338
			建築工事		
2	飯綱高原キャンプ場再整備 (バンガロー撤去及びサイト拡張、 炊事場改修 他)		53,500		
			建築工事		
3	山の駅地盤調査業務委託 (R1既決予算)	4,104			4,104
		調査業務			
4	山の駅敷地測量業務委託 (R1既決予算)	10,260			10,260
		調査業務			
5	大座法師池水上テラス整備 (R1既決予算)	38,778			38,778
		整備工事			
6	山の駅備品			20,000	20,000
				備品購入	
7	小天狗の森フィールド アスレチック		7,000		7,000
			整備工事		
8	大座法師池周辺植栽整備	1,000	1,000	1,000	3,000
		整備委託	整備委託	整備委託	
9	大谷地湿原遊歩道改修			10,000	10,000
				改修工事	
合計		78,111	674,369		752,480

令和元年度

令和2年度

令和3年度

新たな運営者選定方法 [D B + 指定管理 (非公募)]

プロポーザル

実施方針(案)公表

質問受期間

募集要領公表

設計
施工
運 営
提 案
受 付

契約先決定・公表

設計業務委託 + 建設工事 (キャンプ場・外構含む)

実施設計

随契

議会承認

建設工事

運営開始

8月頃～ 10月頃～

12月議会後

指定議決

令和2年
12月議会

設計会社

施工会社

運営会社

P F I 事業等審査委員会
(条例設置による市の附属機関)

令和元年・12月議会

① 辺地対策総合整備計画

② 補正予算 (債務負担)

③ 設置条例議案提出

◎ 部長会議
7/17

◎ 政策説明会
7/22



グランピングサイト イメージ

施設の設置目的

「来訪者との交流による地域産業と地域コミュニティの活性化」



実現に向けて…

収益性を確保しつつ、継続性をもって「飯綱高原の魅力発信」、「地域の活性化」につなげる。

具体的には、

- 飯綱高原のブランド化（年間を通じた飯綱高原の魅力発信）
- 地域の年間交流人口増加（市内から30分以内という立地を生かした、子育て世代を主なターゲットとする新たなアクティビティの提供等）

そのため、



★ 冬季（11月から3月）を含めた通年営業を基本とする。

※ただし、キャンプ場の営業は現行どおり4月～10月までとする。

現状分析

スキー場

H30飯綱高原スキー場入込状況 (12/30 ~ 3/3)
 キッズパーク利用者数：1,478人 (土日祝のみ営業, 500円/人)
 そりゲレンデ利用者数：3,384人 (無料) 幼・保 延べ42団体

大座法師池周辺

- ・雪合戦 (1月下旬の土日開催・参加者約400人・約30チーム)
- ・スノーシューレンタル (12月中旬～3月中旬・利用者約100人・500円/人)

観光協会他
が実施

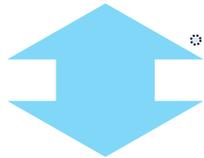
これまで、大座法師池周辺では、雪を楽しむ等、冬のアクティビティが提供されてこなかった

そこで！冬でも楽しめる新たなアクティビティの導入

従って冬期間
入込が少ない

ハード (山の駅の施設内に整備予定)

全天候型屋内遊具施設や多目的スペースの整備により、悪天候でも楽しめる場所を確保



屋内外で連携することにより、長時間滞在できる環境を整備し
山の駅の飲食施設売り上げにつなげる

ソフト (自主事業) (大座法師池周辺で実施予定)

「雪」を活かしたアクティビティを導入し、市内から気軽に行ける「キッズ・スノーパーク」として、
ターゲットとする子育て層にPR 現状のキッズパーク利用者、そりゲレンデ利用者を取り込む

スノースライダー (12月～3月)



スノーシュー (12月～3月)



ファットバイク (12月～3月)



スノーチュービング (2月)

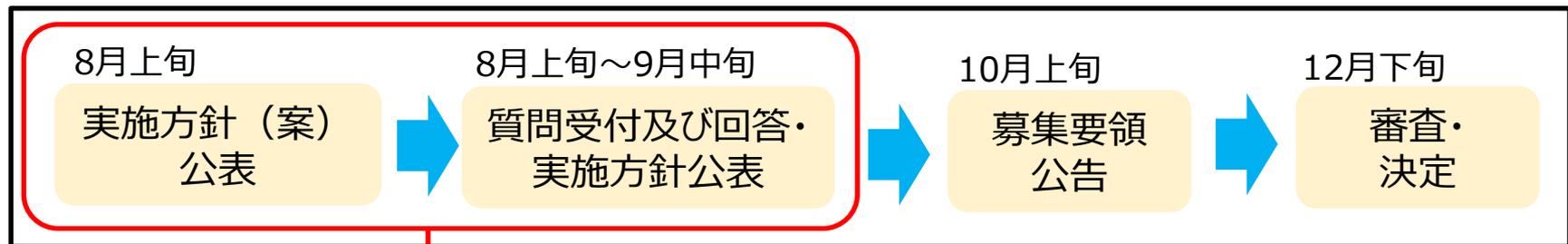


実施方針(案)の公表により事業者へ市の方針を周知

- 山の駅の運営にあたっては、市からの指定管理料の支払いはせず、**冬季間（11月から3月）の土日祝日営業を必須条件とし、独立採算での運営を求める。**

※プロポーザルにおいて、**冬季の平日営業提案があった場合は審査の際に加点する。**

今後のスケジュール



- ・市の運営方針に対する**事業者からの意見を聴取**する機会となる。
- ・事業者の通年営業に対する意見を踏まえ、営業期間に係わる**市の方針を最終決定**。